

2023年度 学校関係者評価委員会議事録

四国歯科衛生士学院専門学校

日時	2024年3月14日(木)	場所	教室(3)	進行	稲井	記録	原
出席者	企業側(4名):敬称略・順不同						
	企業名・団体名			参加者氏名		役職	
	一般財団法人徳島県歯科衛生士会			河野 美枝子		会長	
	(株)エクセル歯科研究所 社長			井内 孝次		外部人材	
	ほんな歯科クリニック			本那 智昭		院長	
	ゆう歯科クリニック			増田 陽子		卒業生	
<p>※欠席者 板東 伸幸 (板東歯科医院南昭和オフィス 院長)</p> <p>学校側(3名)</p> <p>(船奥・稲井・書記 原)</p>							
<p>&lt;式次第&gt;</p> <p>1. 議長挨拶(河野 美枝子)</p> <p>出席者へ、本日、徳島歯科学も同じ委員会を開催している。参加者の皆様から忌憚ないご意見をお聞かせ願いたい。</p> <p>2. 各メンバーの近況報告</p> <p>井内： 歯科技工士は全国的に不足している。60歳代以上の人が辞めていることもあり、歯科技工所はどんどん減っている。シーアイメディカルなど大手が買収を進めている。人が足りなくて保険の仕事ができなくなっている。技工士業界が大きく変わる。</p> <p>増田： 歯科衛生士募集しているが、来ない。全国的に少ないとされているが。</p> <p>本那： 良くも悪くも変わらずやっている。</p> <p>3. 評価について</p> <p>R5年度、学生がよりよい教育活動ができるよう教育水準の向上と質保証を図りながら、学校の教育活動その他の学校運営について評価を行う。</p> <p>また、この評価委員会の評価は通年度分を令和6年4月以降のホームページにて公表する。</p> <p>・教員の自己評価</p> <p>4.適切 3.ほぼ適切 2. やや不適切 1.不適切 の4段階評価を集計し、その平均値を評価基準とした。</p> <p>評価項目ごとに評定の結果の報告と今後の改善方策の説明を行った。(別紙)</p> <p>1. 教育目標、教育理念</p>							

- ・明示する機会が少ない。→校訓の掲示
- ・次年度説明会をハイブリットで開催。オンラインも活用し、継続していく。

## 2. 学校運営

- ・入学者数に偏りがある。早期の入学者数の確保が必要。  
現2年生をターゲットに、学校の特色を打ち出して募集活動を進めていきたい。
- ・ホワイトニングやデンタルエステの授業を始めた。継続していく。

## 3. 教育活動

- ・学生の集中力向上、教員負担の軽減、学習機会の確保のために、来年度より1単位時間を60分から45分に短縮する。

午前 1時限目 9：30～10：15  
 2時限目 10：15～11：00  
 休憩 11：00～11：15  
 3時限目 11：15～12：00  
 昼休憩 12：00～13：00  
 4時限目 13：00～13：45  
 5時限目 13：45～14：30  
 休憩 14：30～14：45  
 6時限目 14：45～15：30

校長：講師からは賛同を得ている。

稲井：時間は短くなり、一見楽に見えるが学ぶ量は同じ。自律的に集中して学ぶ必要がある。

校長：実習や介護職員初任者研修は実時間が必要。

学生には新学生便覧を用いて細かい説明を、保護者には次年度説明会で説明をしている。

- ・再履修

翌年にすべて履修をし直していたが、不足分のみ履修するように変更した。再履修時は、本来、受けるべき授業を欠席し、再履修を受けるようになり悪循環。

- ・単位認定会議

がけっぶちの学生を救えるように明確にはなっていない。  
崖を歩いていた卒業生も、今では立派に歯科衛生士をしている。

## 4. 学習成果

- ・就職率は高い。
  - ・国家資格の合格率の向上が必須。
- 早期からの取り組み、成績不良者へのフォローが必要。

今期、マンツーマン指導した学生は、成果が出たと思われる。

#### 5. 学生支援

- ・ 6月には各歯科診療所に求人票を取りつけ、学生が見える状態に。就職率 100%。各人希望の就職先へ。
- ・ 奨学金、学校独自の奨学金もあり、利用している学生もある。相談があれば、学費の分割納入も可能。
- ・ 卒業制への支援体制については、同窓会組織あり。

#### 6. 教育環境

- ・ 施設が古い、整備が遅れていることが改善事項。法人化に伴い、計画的に設備投資を考えていかなければならない。
- ・ 新型コロナウイルス感染症のため県外実習を中止していたが、来年度より再開予定。(あみの歯科医院(大阪)、こぐま小児歯科(愛媛))

#### 7. 学生の受け入れ募集

- ・ 高校生の認知度の低さ。
- ・ SNS等での告知頻度を上げて、募集につなげたい。費用がかさむため、費用対効果を考えながら実施していく。

#### 8. 財務

- ・ 定員割れしている。
- ・ リカレント教育も盛んになっているため、社会人からの入学者数を増やしていきたい。

#### 9. 法令等の遵守

- ・ 実習先と誓約書を互いに取り交わしている。

#### 10. 社会貢献・地域貢献

- ・ 介護施設等への訪問実習を行っているが移動費が負担に。
- ・ 補助金、徳島県から来年度から、職業訓練校であるため。今までなかったが

#### 4. 学生アンケート(別紙)

授業評価をもとに、来年度に向けて改善点を考えていく。

1年生・・・学内教員評価                      学外講師評価

2年生・・・学内教員評価                      学外講師評価

3年生・・・学内教員評価                      学外講師評価

- ・ 2年生が学外講師に対して厳しい評価。

本那：48期生・・・やる気を感じられる。授業はやりやすかった。

49期生・・・近年まれに見ぬ授業のやりにくさ。決まった学生が寝ている。やる気をあまり感じなかった。やる気のある学生

とない学生が両極端。

良くも悪くも「最近の学生」だなと思う。

50期生・・・普通、聞いてくれていると感じる。

校長：48期生は1年生の時から挨拶もよくでき、出席率もよい。

評価を取るとよくわかる、学校にも不満があるのだろう。

#### 5. 教育活動・学校運営の質向上のための今後の課題と改善策

増田：入試時の面談にヒントがあるのでは？決められたことを言うと思うので、本当はどう思っているのか。

校長：実習の行き返りを51期生がスーツに変更した。

白衣のパンツは紺色、臨地スタイルが黒色で勘違いされやすい。

指導者の人も戸惑う。

増田：注意するときにはしないとイケないが、学校からの資料に乗っ取って指導している。まれに「知りません。聞いていません」と言われることも。

#### 6. 学校が設定した当初の評価項目の達成と取り組み状況について

・全員の単位習得と国家資格の取得

校長：三重丸とは言えない。早い段階からの対処が必要。

今年の再受験者に対する、マンツーマン指導は効果があったように考えている。

稲井：最終的には良い歯科衛生士になってもらえるようにやっていきたい。

#### 7. 質疑応答

質問 井内：歯科衛生士の求人は、週休2日が普通か？

船奥：週休2日が多い。県外に出ると週休2.5日や3日も増えてきている。

増田：大企業は週休3日が増えてきている。

井内：歯科技工士も週休2日を目指すようになった。売り上げを維持しながら休みを増やすのはとても大変。

井内：本那先生に質問

納期が2日延びると、歯科の売り上げが下がるのか。

本那：下がる。

井内：週休2日にすると、残業が増える恐れが。

制約が増えると批判が出る。たばこ休憩への批判。早く戻ると臭いと批判される。

本那：喫煙問題は大変。大学時代も敷地内禁煙のはずが屋上で吸っていたり。まずは技工所も敷地内禁煙から始めるのはどうか。

8、次回の開催日及び時間について（案）  
令和7年3月13日(木) 18:00～19:00

以上をもって、議長、河野が閉会を宣言した。